

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護倫理		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小石川 好美	403	yoshimi.koishikawa	授業終了後、 火曜日 15:00~16:00		
授業の目的・概要	医療・看護に携わる者は、人間の基本的人権を尊重し、個人の尊厳を遵守しなければならない。本科目では看護倫理の背景、専門職としての倫理、倫理概念や倫理原則の知識と共に、看護職者が直面する倫理的課題へのアプローチの方法について学ぶ。また、医療倫理や看護倫理の今日的課題について考え、看護職者としての倫理的態度を養うことを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	看護職として倫理を学ぶ意味を理解するために事前課題に取り組み、積極的に抗議、ディスカッションに参加すること。				
教科書	看護実践の倫理 第3版/著: サラ・T・フライ 著訳: 片山範子 他 /日本看護協会出版会/2010				
参考書	看護管理者の基本的責務2020年度版 監/手島恵、日本看護協会出版会/2025				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療：看護倫理の成立過程と看護倫理の重要性について説明できる。		HSU(1)、NS(1)(3)		
②	倫理の基本的な知識について説明できる。		HSU(1)、NS(1)(3)		
③	医療・看護倫理・生命倫理とは何か説明できる。		HSU(1)、NS(1)(3)		
④	臨床で遭遇する倫理的課題について説明できる。		HSU(1)、NS(1)(3)(4)		
⑤	倫理的課題の解決方法を説明できる。		HSU(1)、NS(1)(3)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	医療・看護倫理の基本的知識を学習する。	講義	事前課題：教科書 p19～25、p28～33を読み、「倫理とは」「倫理の原則」についてまとめる。	4	
2	医療・看護倫理の成立過程と倫理の重要性について学習する。	講義・グループディスカッション・プレゼンテーション	事後課題①：提示された事例を基に自己の考えをまとめる。	4	
3	医療・看護倫理の成立過程と倫理の重要性について、看護倫理における価値、価値の対立、看護業務と法、守秘義務などの観点から学ぶ。	講義	事前課題：教科書 p7～15を読み「価値」「価値の対立」についてまとめる。	4	
4	医療・看護倫理、生命倫理の成立背景とアドボカシー、責務と責任、協力、ケアリング、インフォームド・コンセント、身体抑制等の観点から、倫理の重要性について学ぶ。	講義 反転授業	事前課題：教科書 p49～58を読み、「アドボカシー」「ケアリング」等についてまとめる。 事後課題②：提示された事例を基に自己の考えをまとめる。	4	
5	事後課題②を基に、アドボカシー、責務と責任、協力、ケアリング、インフォームド・コンセントについて学ぶ。	講義 反転授業	事前課題：教科書 p49～58を読み、「アドボカシー」「ケアリング」等についてまとめる。	4	
6	医療・看護倫理、生命倫理の現実的課題について事例をもとに、情報管理、院内感染、患者対応について学ぶ。	講義	事後課題③：提示した事例についての自己の考えをまとめる。	3	
7	医療・看護倫理、生命倫理の現実的課題について事例③をもとに、専門職としての倫理的行動について学ぶ。	講義・GW プレゼンテーション	事後課題：これまでの授業の振り返りを行う。	3	
8	これまでの講義で学んだ知識を基に、事後課題③事例の倫理的課題の課題解決のグループワークを行う。7講までの授業内容を振り返る。	講義・GW プレゼンテーション	同上	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	50	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	30	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		10	10	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	倫理および看護倫理の基本的な知識について 50%評価する。				試験後に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	課題①②を各 10%、課題③を 30%で評価する。				試験後に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	看護師として 40 年の臨床経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	看護師として病院の勤務経験を有する教員の指導のもと、看護倫理の基本的な知識の習得を目指す。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験への教科書の持ち込みは不可とする。</li> <li>シラバスの変更がある場合は随時連絡する。</li> </ul>						